

国民は怒れ！ 国会議員、その腑抜けな国会議員を手の平で躍らせ
「我が世の春」を謳歌している高級官僚共！ 大企業優遇で仕事は無能でも、生活だけ
は保障されている奴らを蔑み憎め！

" こいつらが、この国を亡ぼす元凶なのだ！ "

瀬戸内の魚介類に「マイクロプラスチックが入っている」と、岡山の学者が新聞で発表した。ところが、数日後、その記事はネットから削除された。聞くところによると公立学校の理事長に赴任したようだ。我々もマイクロプラスチックについては、早くから関心を持っており、瀬戸内の魚介類の大半に付着しているとの、調査結果も出している。私は牡蠣が大好きだ。

しかし、瀬戸内産と宮城産を比べれば、素人でも瀬戸内産は買わない。

汁は黄ばんでいる。宮城産は透明だ。学者としてプライドがあるなら、いち早く警告を発して対策を講じるべきだろう。こう云う似非学者が、原発事故の研究主任の東工大Y教授だった。経産省が策を講じて、事なかれ主義で、卑劣な手段を講じている事は明らかだ。

尊敬する黒川清先生が全てを御存じだが。3流学者は、東工大の原発事故Y研究主任教授もそうであった。経済産業省を主に、国民の安全、命を守ることに何とも思っていないのだ。

我がPOLY-GLUは、尿の色素、養豚・養鶏・牧畜・医療廃水等の「難解な水質浄化を」汎用品のPGα21Ca 30秒で無機・有機に関わりなく、不純物を回収できる。

現在世界80の国で採用されているが、我が日本では経産省が、大企業水処理企業を擁護するために、何としてもPOLY-GLUを、水処理業界に参入させまいと、躍起になり邪魔をしている。水中の色素やヒ素、フッ素、ホウ素などの除去は、ポリグルだけが可能な技術を有している。勿論、大手水処理業者も技術は持っているが、その装置は何十億円もする代物であり、電力も、高価な機材も必要だ。電気も不要で、子供でも浄化できる技術は、POLY-GLUだけの特技である。

小林製薬の欺瞞に充ちた紅麴は、厚労省・農水省・消費者庁・経産省の大企業優先の弊害の典型だ！我々が独自に開発した技術は、世界80の国が許可しても、我が国政府は実証試験さえ拒んでいる。

敬愛する安倍元首相は、国連総会で2度もPOLY-GLUの事を紹介いただいた。

それでも、日本のメディア全てが報じなかった。常々安倍氏は言われた。

「このままでは日本は滅びる」「小田さん日本を取り戻そうではないか！」無能で仕事も出来ない官僚共が邪魔しようとも、私は負けない。国民も何時までも馬鹿では無いだろう。

上記記述はPOLY-GLUグループ小田兼利が全責任を負います。

**We also want to
be Poly-Glu Lady.**

